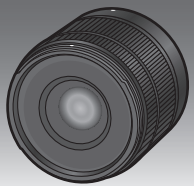


LUMIX



- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(裏面)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

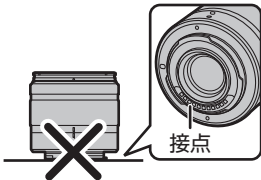


パナソニック株式会社
パナソニック エンターテインメント & コミュニケーション株式会社
〒570-0021 大阪府守口市八雲東町1丁目10番12号
© Panasonic Entertainment SQT0442-3
& Communication Co., Ltd. 2014 F0914KD3042

- 本レンズは、マイクロフォーサーズTM システムのレンズマウント規格に準拠したデジタルカメラに取り付けて使うことができます。
- フォーサーズTM マウント規格カメラには装着できません。
- 本書内のデジタルカメラのイラストはDMC-GM5の例で説明しています。

- マイクロフォーサーズTM 及びマイクロフォーサーズ ロゴマークはオリンパス(株)の日本・米国・EU・その他各国の商標または登録商標です。
- フォーサーズTM 及びフォーサーズ ロゴマークはオリンパス(株)の日本・米国・EU・その他各国の商標または登録商標です。
- G MICRO SYSTEMは、マイクロフォーサーズシステム規格に準拠したLUMIXのレンズ交換式デジタルカメラシステムです。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

- 砂やほこりは、レンズの故障につながります。
浜辺などで使うときは、レンズ内部や端子部に砂やほこりが入らないようにしてください。
- レンズは防水・防滴構造ではありません。万一、水滴などがかったときは、乾いた布でふいてください。正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口(裏面)にお問い合わせください。
- レンズ面を強く押さないでください。
- レンズ表面に汚れ(水、油、指紋など)が付いた場合、画像に影響を及ぼすことがあります。撮影前後は、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。
- レンズ取り付け部を下にして置かないでください。
また、レンズの接点を汚さないようにお気をつけください。



- ・露付きは、下記のように温度差や湿度差があると起こります。レンズ汚れ、かび、故障の発生原因になりますのでお気をつけください。
 - ・寒い屋外から屋内に持ち込んだとき
 - ・車外から冷房の効いた車などに持ち込んだとき
 - ・エアコンなどの冷風がレンズに直接当たっているとき
 - ・湿度の高いところ
- ・露付きの発生を防ぐためにビニール袋に入れて周囲の気温になじませてください。万一、露付きが起こった場合、デジタルカメラの電源を [OFF] にし、2 時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、曇りが自然に取れます。

- 本レンズは、対応したデジタルカメラでのみ手ブレ補正機能が正しく働きます。
- 当社製デジタルカメラ (DMC-GF1、DMC-GH1、DMC-G1) をご使用時に、撮影メニューの[手ブレ補正]を[OFF]に設定できない場合があります。下記サイトにてデジタルカメラのファームウェアアップデートを行うことをお勧めします。
<http://panasonic.jp/support/dsc/download/>
- 他社製デジタルカメラに装着時は、各製造元へお問い合わせください。

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークはEU域内でのみ有効です。

製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。



お手入れの際は、ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤を使わない

- 溶剤を使うと変質したり、塗装がはげるおそれがあります。
- 柔らかい乾いた布でほこりや指紋をふいてください。
- ズームリングやフォーカスリングに付いたほこりや汚れは、ほこりの出にくい乾いた布でふいてください。
- 台所用洗剤や化学雑巾は使用しないでください。



The diagram illustrates the front and rear views of a lens. A horizontal line connects the two views, with a vertical line extending downwards from the center. The front view (left) shows the lens elements with callouts 1, 2, and 3. The rear view (right) shows the lens mount with callouts 4 and 5. Callout 1 points to the front element, 2 to the front element group, 3 to the front element group, 4 to the rear element group, and 5 to the rear element.

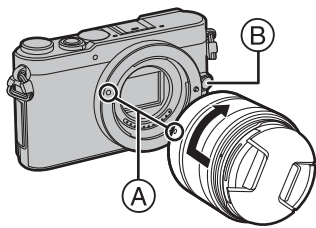
- フラッシュ撮影時に被写体との距離が近い場合、レンズでフラッシュ光が遮られ、撮影画像の一部が暗くなる場合があります。被写体との距離を確認しながら撮影してください。
- ピントを合わせたあとズーム操作をした場合は、ピントに誤差が生じることがありますので、もう一度ピントを合わせ直してください。

- 取り付け方・取り外し方は、お使いのデジタルカメラの説明書もお読みください。
- デジタルカメラの電源が[OFF]になっていることを確認してください。
- レンズリアキャップを外してください。
- レンズの取り付け・取り外しは、レンズ鏡筒が収納されている状態で行ってください。



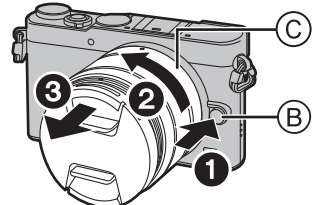
デジタルカメラとレンズのレンズ取り付けマーク④を合わせて、レンズを矢印の方向に「カチッ」と音がするまで回す

- レンズを付けるときは、レンズ取り外しボタン⑩を押さないでください。
- レンズをカメラ本体に対して傾いた状態で付けようとすると、カメラ本体のレンズ取り付け部を傷つけるおそれがありますのでお気を付けてください。
- レンズが正しく付いていることを確認して



レンズ取り外しボタン⑧を押しながら、
レンズを矢印の方向に止まるまで回して外す

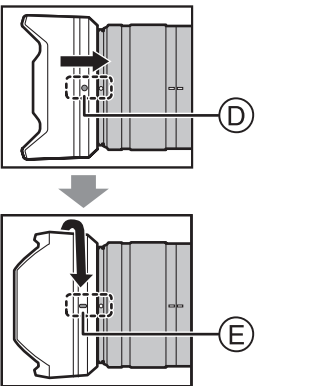
- レンズの根元付近⑨を持って回してください。
- レンズの接点を傷つけないように、必ず
レンズリキャップを付けてください。
- カメラ本体の内部にごみやほこりが付着す
るのを防ぐために、必ずデジタルカメラにホ



● レンズフードをゆがませるような持ち方はしないでください。

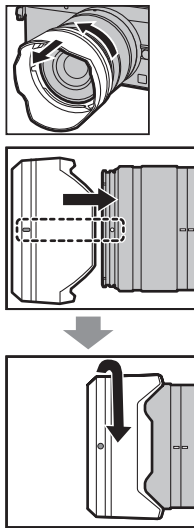


- 1 レンズフードの短いほうの指標
⑩とレンズ先端の指標を合わせる
- 2 レンズフードを矢印の方向に「カ
チッ」と音がするまで回し、レン
ズフードの長いほうの指標⑨と
レンズ先端の指標を合わせる



2 レンズフードの長いほうの指標とレンズ先端の指標を合わせる

3 レンズフードを矢印の方向に「カチッ」と音がするまで回して付ける



- フラッシュ使用時にレンズフードを付けていると、フラッシュ光がレンズフードに遮られ、画面の下が暗く(ケラレ)なり、調光できなくなります。レンズフードを外して使用することをお勧めします。
- 暗いところで AF 補助光を使用するときは、レンズフードを外してください。

撮影の準備とレンズの収納

■ 撮影の準備

レンズ収納状態(Aの位置)から、ズームリングを矢印①の方向に回し、②の位置(35 mm～100 mm)にしてレンズを繰り出す

- ・レンズ鏡筒が収納されている状態では、撮影することができません。
- ・必ずレンズキャップを外してください。

■ レンズの収納

②の位置(35 mm～100 mm)から、ズームリングを矢印②の方向に回し、Aの位置に合わせて収納する

- ・撮影しないときは収納状態にしておくことをお勧めします。

■ フィルター類を取り付ける

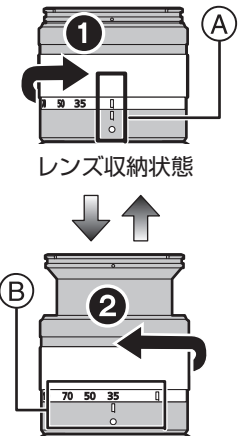
- MCプロテクター(別売:DMW-LMC46)、PLフィルター(別売:DMW-LPL46)、NDフィルター(別売 :DMW-LND46)を 2 枚以上重ねたり、厚みのある種類を使用したときには、ケラレ(撮影画像の一部が暗くなる)が生じることがあります。
- フィルターを強く締めすぎると、外れなくなるおそれがありますので、強く締めないようにしてください。
- フィルターを付けたまま、レンズキャップを取り付けることができます。
- レンズフードを付けた状態で、フィルターを取り付けることはできません。
- 本レンズにフィルター以外のコンバージョンレンズ、アダプター類を装着して使用することはできません。装着するとレンズを壊したりするおそれがあります。

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

デジタルカメラ用 交換レンズ (LUMIX G VARIO 35-100 mm/F4.0-5.6 ASPH./MEGA O.I.S.)

焦点距離	f=35 mm～100 mm (35 mm フィルムカメラ換算：70 mm～200 mm)
絞り形式	7 枚羽根 円形虹彩絞り
開放絞り	F4.0 (W 端時) ～ F5.6 (T 端時)
最小絞り値	F22
レンズ構成	9 群 12 枚 (非球面レンズ 1 枚、ED レンズ 2 枚)
撮影範囲	0.9 m～∞
最大撮影倍率	0.11× (35 mm フィルムカメラ換算：0.22×)
手ブレ補正	あり
O.I.S. スイッチ	なし (手ブレ補正の設定は撮影メニューで行います)
マウント	マイクロフォーサーズマウント
画角	34° (W 端時) ～ 12° (T 端時)
フィルター径	46 mm
最大径	約 55.5 mm
全長	約 50 mm (レンズ先端からレンズマウント基準面まで、レンズ鏡筒収納時)
質量	約 135 g



安全上のご注意 (必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

	してはいけない内容です。		実行しなければならない内容です。
--	--------------	--	------------------

警告

デジタルカメラに取り付けて使用中に異常・故障が発生したときには直ちに使用を中止する

- ・煙が出たり、異常なおいや音がする
 - ・映像が出ないことがある
 - ・内部に水や異物が入った
- そのまま使うと火災・感電の原因になります。
- デジタルカメラの電源を切り、販売店にご相談ください。

水などの液体をかけたりぬらしたりしない

- ・ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。
- 機器の近くに水などの液体の入った容器を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

太陽や強い光源にレンズを向けたり、のぞき込んだりしない

- この交換レンズは凹レンズと凸レンズの組み合わせで構成されています。太陽や強い光源に向けると、集光作用により周囲の燃えやすいものを発火させたり、内部部品が破損するなど、火災・故障の原因になります。また、のぞき込むと失明につながります。
- 必ず、付属のレンズキャップとレンズリアキャップを付け、太陽光が直接当たらないようにしてください。

注意

レンズの上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、故障の原因になることがあります。

レンズフードだけを持って持ち運ばない

レンズフードからレンズやデジタルカメラが外れて落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。

【デジタルカメラに取り付けて使用する場合】
油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

デジタルカメラに取り付けて、電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない

本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど※の原因になります。
長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。
※ 血流状態が悪い人 (血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている) や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

● デジタルカメラの取扱説明書「安全上のご注意」も併せてお読みください。

保証とアフターサービス(よくお読みください)

使いかた・お手入れ・修理などは

■ **まず、お買い求め先へご相談ください。**

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電話	() —
お買い上げ日	年 月 日

修理を依頼されるときは

この説明書をよくお読みのうえ、直らないときは、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

●製品名	デジタルカメラ用 交換レンズ
●品 番	H-FS35100
●故障の状況	できるだけ具体的に

- 保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
保証期間：お買い上げ日から本体1年間
保証書は日本国内においてのみ有効です。
The warranty is valid only in Japan.
保証書承諾内容、仅限于产品在日本国内使用时有效。
- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※ 補修用性能部品の保有期間 **8年**

当社は、このデジタルカメラ用 交換レンズの補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後8年保有しています。

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

サポート総合窓口 <https://panasonic.jp/support>

LUMIX (ルミックス) ・ムービー
使い方・お手入れなどのご相談窓口

フリーダイヤル **0120-878-638** 受付時間 9:00～18:00 月～土曜日 (祝日・正月三が日を除く)

■ 上記電話番号がご利用いただけない場合 ■ FAX フリーダイヤル **06-6907-1187** **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444 **Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

修理に関するご相談窓口

フリーダイヤル **0120-878-554**

■ 上記電話番号がご利用いただけない場合 **03-6633-6700**

<https://panasonic.jp/support/repair.html>

- ・掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。(パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります)
- ・ご使用の回線 (IP 電話やひかり電話など) によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- ・上記のURLはお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときに発信番号を通知いたしております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。
個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

CLUB Panasonic 商品登録のご案内

このたびは、パナソニック商品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
さて、弊社ではより良い商品とサービスをお客様にご提供できるようにパナソニック商品をご購入の方に商品登録をお願いしています。
ぜひ、この機会に商品登録をお願いいたします。

※ 皆様の貴重なご意見を、製品の開発や改善の参考とさせていただきたいと思いますので、アンケートにもご協力いただきますようお願い申し上げます。

ご登録特典 1	●お持ちの家電商品、消耗品情報が一元管理できる！
ご登録特典 2	●登録商品に関するお知らせやサポート情報が入手できる！
ご登録特典 3	●登録者限定のキャンペーンに参加できる！ ●登録商品のサポートも充実

お問い合わせ先：CLUB Panasonic 事務局
(club-info@panasonic.jp)

ご登録手順：下記のいずれかを選んでください。

■ パソコンからの登録方法

次のアドレスにアクセスしてください。
<https://club.panasonic.jp/aiyo/>

■ 携帯電話からの登録方法

- QR コードを使ってアクセスする場合



- URL を入力してアクセスする場合
<https://club.panasonic.jp/aiyo/>

- QR コードは (株) デンソーウェーブの登録商標です。